岐宿中学校だより　理想開拓
令和７年５月２８日(水)
第２号
文責　校長　田端　幸一

五島市中総体（球技・武道）を終えて

五島市中学校総合体育大会が５月２５日（日）に開催されました。結果は以下の通りです。

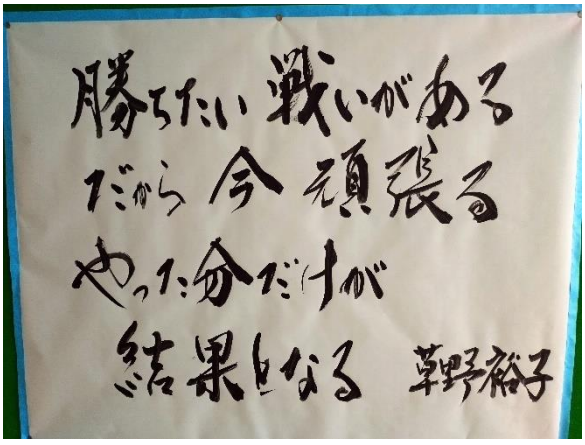
☆バレー女子　岐宿中０－２富江中　岐宿中０－２福江中

☆軟式野球　岐宿中０－７福江中

☆柔道　男子団体戦　岐宿中０－４翁頭中
岐宿中０－５福江中
男子個人戦　５０kg級　優勝　川村　一希
３位　岩田　龍空
６６kg級　３位　吉川　昇晄
７３kg級　準優勝　松本　琉生

☆剣道　女子個人戦　準優勝　野口　海美

各会場で選手たちは一生懸命頑張りました。負けて心の底から悔しがっている選手もいました。野球部においては部員がぎりぎり９名。万が一、選手にけがや病気があっても出場辞退にならないようにと、部活動に所属していない生徒やクラブチームに所属している生徒が、練習時から活動を共にし、ベンチに入ってくれました。仲間を思いやる気持ちが感じられ、大変嬉しく思いました。また、応援生徒もよく頑張りました。声を張り上げて、声援を送る姿に頼もしさを感じました。



さて、左の写真は、本校の体育主任である草野先生からのメッセージです。

「勝つためには、どんなスポーツにおいても、まずもって技能や体力が必要です。それは、なかなか簡単には身に付かないから、練習がくり返し必要です。時にはきついトレーニングも必要です。また、勝つためには精神力（気持ち）の強さも求められます。試合本番は緊張します。その緊張に耐えられるように、そして、最高のパフォーマンスが発揮できるように本番を見据えた緊張感のある練習が不可欠です。」というようなことを選手に伝えたかったのだと私は感じました。

また、勝負事には、「運」とか「つき」というものがあると思います。激励式では、甲子園常連校の仙台育英高校の選手たちがゴミ拾いを「運拾い」といって、日頃から率先して実践していることを紹介しました。日常の生活の中から、自分に、チームによい「運」が向くように、掃除を頑張る、靴やバッグを並べる、爽やかな挨拶をする、人の話をきちんと聞く、授業に集中する・・・。競技は違えど、強豪校と言われるチームの選手が行っていることです。「勝った」「負けた」も大切なことですが、これまでの自分を振り返り、今後の理想の自分につなげてほしいと思います。

６月８日（日）は陸上大会です。選手・応援生徒の溌剌とした姿を期待しています。